

令和8年 4月入学

大学院創成科学研究科
博士前期課程
(農学系専攻)
学生募集要項

第3回

山口大学

山口大学のアドミッション・ポリシー（大学院）

山口大学は、「山口大学憲章」に掲げる基本理念に基づき、大学院のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を定め、「発見し、はぐくみ、かたちにする」を実践し、地域、日本、世界に寄与できる人材の育成を目指します。そのために、次のような学生の入学を求めていきます。

「求める学生像」

- [1] 「発見し、はぐくみ、かたちにする」を実践して理論的・実践的研究を遂行するため
に必要な高度な専門性と学識及び意欲をもつ人
 - [2] 様々な視点から物事を論理的・批判的に考え問題解決ができる人
 - [3] 豊かな人間性と社会性を備え、自律心と倫理観をもって他者と協働することができる人
- このような学生を適正に選抜するために、大学院の募集単位ごとに、多様な選抜を実施します。

「入学者選抜の基本方針」

山口大学大学院の教育を受けるにふさわしい能力・適性を備えた入学者を受け入れるために、各研究科が求める能力・適性を多面的・総合的に評価し、選抜します。

創成科学研究科入学試験で重視するポイント

◎：強く重視して評価する ○：重視して評価する

専攻	選抜内容	高度な理論的・ 実践的研究を遂 行するために必 要な知識・技能	研究成果を実践 の場で応用・展 開できる能力	豊かな人間性と 高度な倫理性、 社会性を兼備
農学系専攻	学力検査	◎	○	
	面接	○	○	○
	出願書類	○	○	○

各コースのアドミッション・ポリシーは創成科学研究科ホームページをご確認ください。

山口大学大学院創成科学研究科アドミッション・ポリシーURL

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gsti/info/admissionpolicy/index.html>



●入学者選抜の概要

1. 選抜方法

一般選抜

2. 専攻別募集人員

学 系	専 攻	コ 一 ス	募集人員※1
			(令和8年4月入学)
農学系	農学系専攻	農学コース※2	36
		生命科学コース※2	

(※1) 令和8年4月入学対象では、一般選抜の第1回、第2回及び第3回における募集人員を含みます。

(※2) 農学系におけるコース分けは入学後、各自、指導教員と相談を行い決定します。そのため、農学系に出願する際は、コースを記載する必要はありません。

(備考) 次項以降、学系で表示している箇所は、上記一覧表の学系を意味します。

学系での表示は、学系に含まれる専攻・コースを含みますので、ご留意ください。

●選抜試験の実施時期

農学系専攻（吉田キャンパス）

一般選抜

令和8年4月入学（第3回）

区 分	日 程 等
出 願 期 間	令和8年1月28日（水）～2月2日（月）
選 抜 期 日	令和8年2月10日（火）
合 格 発 表	令和8年3月6日（金）正午予定
入 学 手 続	令和8年3月9日（月）～3月11日（水）

※ 地震等の災害、台風の接近に伴う公共交通機関の乱れ及び計画運休等により、試験が実施できない場合は、予備日に試験を実施することがあります。その場合は、試験前日までに本研究科ホームページにて通知します。

I 出願資格

1. 大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者
2. 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和8年3月までに授与見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者
5. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者
6. 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8年3月までに修了見込みの者
7. 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和8年3月までに授与見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)

(以下の出願資格9, 10及び11により出願を希望する者は、事前審査を受ける必要がありますので、11ページの「出願資格事前審査申請について」を参照してください。)

9. 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月末までに22歳に達する者
11. 令和8年3月末日で次のいずれかに該当する者で、所定の単位を優れた成績で修得したと本研究科において認めた者
 - (1)大学に3年以上在学した者
 - (2)外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (3)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - (4)我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
12. 次の語学基準を満たし、その証明書を提出できる者
農学系専攻：TOEIC400点以上

※出願希望者は、出願前(なるべく早い時期)に希望する専攻・コースの指導教員に相談すること。

II 出願手続等

1. 出願期間

令和8年4月入学 (第3回)	令和8年1月28日(水)～2月2日(月) 《17時15分 必着》
-------------------	----------------------------------

(備考)持参する場合は、上記出願期間中の9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出願書類等

入学志願票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。
写真票 受験票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真(4cm×3cm)を貼ってください。
卒業(見込) 証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの。(本学農学部卒業(見込み)者は不要)
成績証明書	出身大学長(学部長)が作成し、巻封したもの。(本学農学部卒業(見込み)者は不要)専攻科修了見込み者または修了した者は、専攻科の成績証明書と併せて、短期大学若しくは高等専門学校の成績証明書も提出してください。
検定料	30,000円 本研究科所定の払込用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書(お客様用)を所定欄に貼り付けてください。 なお、納入された検定料は、5ページ7.の検定料を返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
TOEIC スコアシート	農学系専攻は <u>400点以上のTOEICスコアシート及びそのコピー</u> を提出してください。(オリジナルは、確認後返却します。) <u>スコアシートは、2024年4月以降に受験したものが有効となります。</u> なお、TOEICについては、TOEICL&R公開テスト(旧名称: TOEIC®テスト)のスコアのみ有効です。ただし、大学等において英語カリキュラム制度の一環としてTOEICを受験している場合は、大学等におけるTOEICL&R IPテスト(旧名称: TOEIC®IPテスト)のスコアも有効としますが、 <u>その場合は、TOEICを英語カリキュラム制度の一環として取り入れていることが分かるもの(履修の手引きのコピー等)を添付してください。</u> (山口大学在学者または卒業者は、履修の手引きのコピー等の提出は必要ありません。)
あて名票	本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み)に、必要事項を記入してください。(本学農学部卒業見込み者で農学系に志願する者は提出の必要はありません。)
その他証明書	【出願資格2による出願者】 <ul style="list-style-type: none">学士の学位を授与された者は、学位授与証明書。学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する短期大学長又は高等専門学校長が発行する次の証明書。 ① 在籍する専攻科の修了見込証明書 ② 学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式任意) 【出願資格5による出願者】 出身学校の長が発行する証明書(本募集要項とじ込み、出願資格5用) 【日本国籍を有しない者】 農学系の一般選抜志願者は、旅券または在留資格を証明する書類の写しを提出してください。

※ 出願書類等は、本研究科入学者選抜において必要なため、提出いただくものです。これによって得た個人情報は、個人情報保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出願方法

入学志願者は出願書類等を取りまとめ、「5. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「特定記録郵便速達」とし、封筒の表に「博士前期課程出願書類在中」と朱書してください。

4. 志望方法

(1) 志望専攻

志望は1専攻1コースに限ります。

(農学系を志望する者は、コースを選択する必要はありません。)

ただし、指導教員毎に受け入れ人数に限りがあります。それを超えた場合、面接等により調整することがあります。

(2) 入学志願票の記入について

1. 志望学系、受験区分、志望専攻及び希望指導教員

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内(13ページ～)を参照のうえ、志望学系、受験区分、専攻及び希望指導教員名を必ず記入してください。

(農学系はコースを記入しないでください。)

2. 受験区分コード

受験区分コードは、6ページ「2. 一般選抜受験区分コード」及び「3. 専門科目の内容」を参照し、希望する指導教員と相談のうえ、志願票の受験区分コード欄に記入してください。

5. 提出先

山口大学農学部学務係 〒753-8515 山口市吉田1677-1
電話(083)933-5811

6. 受験票の送付

手続後、受験票を郵送又は担当窓口で配付します。選抜期日の3日前までに届かない場合は、提出先に問い合わせてください。

7. 検定料の返還について

(1) 次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

① 検定料を納入済みであるが山口大学に出願しなかった場合

② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合

③ 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

(2) 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

また、上記③の場合は、出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒753-8511 山口市吉田1677-1
国立大学法人 山口大学財務部財務課
電話 083(933)-5098

III 選 抜 方 法 等

学力検査及び出願書類（学業成績）を総合して判定します。

1. 学力検査等

専攻	コース	学力検査等
農学系専攻	農学コース	英語※、専門科目
	生命科学コース	

※農学系専攻における英語の学力検査は、英語能力テスト（TOEIC）のスコアにより評価します。

筆記試験は行いませんので注意してください。スコアの換算については別表1を参照してください。

別表1：TOEICのスコア換算式

TOEICのスコアは、TOEIC 600点を筆記試験100点満点の80点に換算して評価します。換算式は以下のとおりです。

x : TOEICのスコア

y : 換算点(100点満点における評価点)

TOEIC	
$y = (2/15)x$	($0 \leq x \leq 600$)
$y = (2x + 1920)/39$	($600 < x \leq 990$)
換算例	
x	y
300	40
450	60
600	80
800	90

2. 一般選抜受験区分コード

一般選抜は、志願票に記載された受験区分コードごとの受験となりますので、出願前に希望する指導教員と相談してください。

専攻	コース	受験区分コード
農学系専攻	農学コース	61
	生命科学コース	

3. 専門科目の内容

専攻名	コース名	専門科目の内容	備考
農学系専攻	農学コース	農学系専攻では、希望する指導教員によって専門科目の内容が異なります。その範囲は希望する指導教員の研究分野から出題します。	
	生命科学コース	詳しくは「13ページの教育研究分野」を参考にしてください。	

4. 選 抜 期 日

令和8年4月入学（第3回）

専 攻 名	期 日	試験科目	時 間
農学系専攻	令和8年2月10日（火）	専門科目	14時00分～15時30分

5. 試 験 場

農学系専攻（吉田キャンパス）

山口大学農学部 山口市吉田1677-1

裏表紙の案内図を参照してください。

6. 注 意 事 項

- (1) 受験の際は、受験票を必ず携行してください。
- (2) 試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- (3) 受験に際して、机上には受験票、鉛筆、消しゴム、時計（計時機能だけのもの）、関数電卓（持参を指定した受験区分で特殊な機能がないもの）以外のものを置いてはいけません。
受験会場には、時計が設置されていません。計時機能だけのものを持参してください。
- (4) 学力検査に不要な携行品は、監督者の指示する場所に置いてください。
また、携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し必ず電源を切ってかばん等に入れておいてください。
- (5) 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。
- (6) 応用数学を筆記試験で受験する場合、関数電卓の使用はできません。
- (7) 入学試験に関する照会は、次にお願いします。

山口大学農学部学務係 電話(083)933-5811

IV 合 格 発 表

令和8年4月入学（第3回）	令和8年3月6日（金）正午予定
---------------	-----------------

創成科学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話による照会には一切応じません。

I. 入学手続

1. 入学手続期間及び入学手続書類の提出先について

各学系の合格者は、次の期間内に該当する提出先で入学手続を完了するようにしてください。

入学の時期	学系	提出先	手続期間
令和8年4月	農学系	農学部学務係	令和8年3月9日（月）～3月11日（水）

※入学手続関係書類は、合格通知書とともに送付します。

2. 入学時に要する経費

(1) 入学料及び授業料

入学料（入学手続時納付） 282,000円（予定額）

授業料（入学後納付） 前期分 267,900円（予定額）

後期分 267,900円（予定額）

注1. 本募集要項公表後、令和8年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は改定額との差額を納入していただくことになります。

- 在学中の授業料の納付は、自動払込利用申込書に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日（末日が土・日の場合は、その前の平日）に学生（または学資負担者）名義の口座から自動的に引き落とし大学に納付することになります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。
- 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。
- 入学手続を行った者が入学を辞退したときは、納付済の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(2) 諸経費

学生健康保険組合 5,000円

学生教育研究災害傷害保険 2,430円（学生教育研究賠償責任保険を含みます。）

(3) 後援会費、同窓会費

農学系専攻

教育後援会費 25,000円（ただし、山口大学農学部出身者については、このうち入会金10,000円を免除します。）

農学部同窓会費 10,000円（ただし、山口大学農学部出身者で既に納めている者は、不要です。）

3. 入学料及び授業料免除について

入学料及び授業料の納付が困難な者に対しては、それぞれ免除する制度があります。この制度により、入学料及び授業料の免除を希望する者は、下記へ問い合わせください。

- 山口大学学生支援部学生支援課学生経済支援係

山口市吉田1677-1 電話（083）933-5611

II 障害等のある入学志願者との事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、対応を事前に協議しますので、希望する対応を記載した相談書（次ページに様式を掲載）を5ページ「II. 出願手続等5. 提出先」へ次のとおり提出のうえ、相談してください。

(1) 相談書に記載する内容

- ① 氏名、生年月日、性別
- ② 郵便番号、住所、電話番号
- ③ 最終出身学校名
- ④ 志望専攻名、希望指導教員氏名
- ⑤ 障害の種類・程度
- ⑥ 受験上希望する具体的対応
- ⑦ 修学上希望する具体的対応
- ⑧ 最終出身学校における生活状況等（主として授業関係）
- ⑨ その他
- ⑩ 添付書類（医師の診断書、身体障害者手帳（写）（交付を受けている者）），その他相談する際に必要と思われる参考資料

(2) 相談書の提出期限

入試区分	該当学系	提出期限
令和8年4月入学（第3回）	農学系	令和8年1月5日（月）

(様式)

令和 年 月 日

山口大学 副学長（教育学生担当）殿

フリガナ

氏名

生年月日

性別

住所〒

電話番号

最終出身学校名

事前相談書

山口大学大学院創成科学研究科に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する研究科・専攻（専修、コース等）及び入試種別

2. 希望指導教員名（希望があれば記載）

3. 障害の種類、程度

4. 受験上の配慮を希望する事項

5. 修学上の配慮を希望する事項

6. 大学等における生活状況等（主として授業関係）

7. その他

8. 添付書類

医師の診断書（写し可）または障害者手帳の写し ※配慮の根拠を示す書類として、
いずれかを必ず添付してください。日本語または英語の診断書を推奨します。

その他相談する際に必要と思われる参考資料

※募集要項の「障害等のある入学志願者との事前相談について」を確認の上、記入してください

III 出願資格事前審査申請について

(一般選抜の出願資格9, 10及び11, 社会人特別選抜の出願資格9に関する認定について)

1. 出願資格

(1) 一般選抜の出願資格9について

学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者とします。(大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したことにより、所定の修業年限未満で大学院に入学した者が、その後に本研究科に入学しようとする場合が該当します。)

提出書類

- ・出願資格事前審査申請書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
- ・入学試験出願資格審査調書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
- ・在籍した最終大学の在籍期間証明書及び成績証明書
- ・在籍大学院研究科の在学証明書及び成績証明書
- ・返信用封筒(長形3号封筒に、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、110円切手を貼ったもの)

(2) 一般選抜の出願資格10及び社会人特別選抜の出願資格9について

本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月末までに22歳に達する者。(短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他教育施設の修了者で3年以上社会人として企業、各種機関等で卒業論文に相当する研究あるいは実務に従事した者が該当します。)

提出書類

- ・入学試験出願資格事前審査申請書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
 - ・入学試験出願資格審査調書(本研究科所定の用紙(本募集要項とじ込み))
 - ・最終出身学校の卒業(修了)証明書
 - ・研究発表、技術報告、特許及び実用新案など具体的な活動状況を示す資料及びこれらに相当する参考資料があれば添付してください。
- なお、必要に応じ、面接を行うことがあります。その場合は事前に通知します。
- ・返信用封筒(長形3号封筒に、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、110円切手を貼ったもの)

(3) 一般選抜の出願資格11について

令和8年3月末日で大学に3年以上在学し、本研究科の事前審査により、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者とします。(出願時において大学の3年次に在学し、当該年度の3月31日で在学年数が3年に達する者及び大学院の修学に必要な基礎的な授業科目の単位を全て修得しており、修得した専門科目の成績が特に優秀である者が該当します。)

なお、学部3年次生を対象とする特別選抜に関する募集については、別に定める募集要項「学部3年次生を対象とする特別選抜」を参照してください。

2. 事前審査受付期間

令和8年4月入学(第3回)

【農学系】: 令和8年1月5日(月)～1月8日(木)《17時15分 必着》

(郵送の場合は特定記録郵便速達とし、封筒表面に「出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。)

3. 提出先

【農学系】: 山口大学農学部学務係

〒753-8515 山口市吉田1677-1 電話 (083)933-5811

4. 結果の通知

令和8年4月入学(第3回)

【農学系】: 令和8年1月20日(火)までに通知

5. 出願手続

事前審査により出願を認められた者は、所定の出願手続を行ってください。

IV. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

1. 趣旨

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者の再教育への要望が高まっています。しかし、通常の教育方法のみで大学教育を実施した場合、社会人は最低2年間その勤務を離れて修学する必要があるため、大学教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人技術者、教育者、研究者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本学大学院創成科学研究科では、大学院での履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者に対し大学院設置基準第14条に定める特例による教育を実施します。

V. 大規模自然災害により被災した志願者の検定料の免除について

山口大学では、大規模自然災害により被災した受験者の進学機会を支援するために、本学が実施する学部及び大学院入学試験の入学者で、下記に該当する場合には、検定料免除の特別措置を行います。

検定料の免除を希望される志願者は、出願前に必ず学生支援部入試課までご連絡ください。

大規模自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

1. 主たる学資負担者が所有する居住家屋等が全壊（全焼、全流失含む。）、大規模半壊、半壊（半焼含む。）、浸水等の被害を受けた場合

2. 主たる学資負担者が当該災害により死亡又は行方不明の場合

※免除の対象及び期間について

本件は、災害発生後に実施される入学試験が対象となります。期間については、原則、当該災害が発生した年度及び翌年度の2年間が対象となります。詳細は下記問い合わせ先で確認してください。

検定料免除に関する問い合わせ先

山口大学学生支援部入試課 電話 (083) 933-5153

山口大学大学院創成科学研究科博士前期課程案内

科学技術の高度化と多様化に対応して学問がますます専門化していく一方、従来の学問体系にみられない新しい境界領域と学問領域が開拓され科学技術の総合化が進められています。

本大学院創成科学研究科は、このような学問の高度化と総合化に幅広く柔軟に対応し得る研究者・技術者を養成するために、多様な教育研究体制を準備しています。所属以外の専攻の授業科目も履修するように指導するだけでなく、他研究科の履修も可能です。

本大学院創成科学研究科博士前期課程の専攻・コース及び研究内容は、別記のとおりです。

入学後は、特定の専攻・コースに所属し、指導教員の下で研究を行うことになります。次ページ以降の案内を参考に志望専攻・コース及び指導教員を選定してください。

* 1 令和8年3月末退職予定

* 2 令和9年3月末退職予定

(博士前期課程)

農学系専攻[Division of Agricultural Sciences]

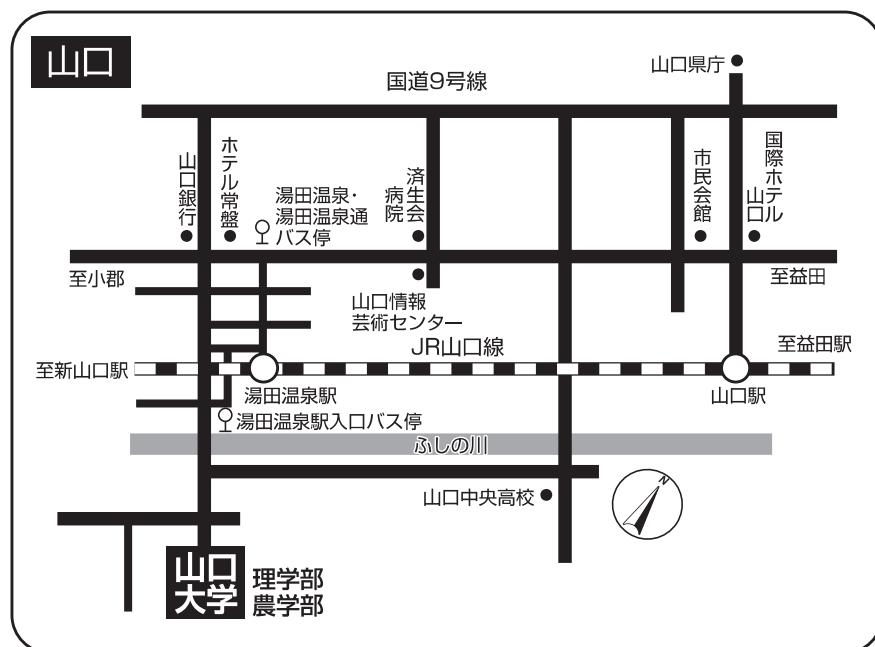
コース	研究内容	教員名
農学コース	水欠乏、過湿、高温などの環境ストレスに対する植物の耐性機構に関する研究 環境ストレスを軽減する栽培管理に関する研究	教授 荒木 英樹
	画像による植物生体情報解析 植物生産における光環境制御	教授 荊木 康臣
	植物工場における野菜の高効率生産と高付加価値化 地球温暖化に対応した新しい野菜品種の開発	教授 執行 正義
	降水雲および降雪雲内の雲物理学的直接観測研究 降水・降雪現象と農業気象災害に関する研究	教授 鈴木 賢士
	作物の多収性・高品質性についての生理生態学的解析 高付加価値生産・持続的作物生産のための作物栽培体系の確立	教授 高橋 肇
	アジアにおけるシロアリの多様性維持に関する研究 シロアリの同胞認識機構に関する研究	教授 竹松 葉子
	果樹における諸形質の遺伝と育種への利用に関する研究 果樹における機能性成分・有効活用法に関する研究	准教授 金 貞希
	植物工場における植物の生理機能の評価とモデル化 未利用資源を活用した省エネルギー・低コストな栽培環境制御法の開発	准教授 佐合 悠貴
	土壤伝染性植物病原菌の病原性因子に関する研究 植物病原菌の比較ゲノム解析	准教授 佐々木 一紀
	副産物石膏の農業的利用 初等中等教育における土壤教育の研究	准教授 藤間 充
	動物の生態と獣害防除に関する研究 地域個体群の遺伝的多様性	准教授 細井 栄嗣
	土壤有機物（腐植物質）の微生物による変遷過程・機構の解明 秋吉台における土壤生成過程・機構の解明	准教授 柳 由貴子
	黄砂の時空間分布の解析 黄砂発生メカニズムの解明と黄砂予測モデルへの応用	助教 武 靖
	植物病原体の感染メカニズムの解明 植物病の診断・防除技術に関する研究	助教 北沢 優悟
	鋼矢板護岸における腐食実態の非破壊評価 流体・構造の相互作用に基づくパイプラインの漏水検出	助教 萩原 大生
	生理活性物質(フェロモン, アレロケミカルなど)の探索および有機合成に関する研究 香りの発生メカニズムとその生理的役割に関する研究	教授 赤壁 善彦
	病原微生物の付着と定着のメカニズム 微生物間のコミュニケーションとその応用	教授 阿座上 弘行
生命科学コース	昆虫食の健康機能性評価 アンチエイジングと寿命延長を目指したシロアリの長寿命解析	教授 井内 良仁
	エネルギー代謝の時空間的な動態の解明 細胞の代謝状態をイメージング・操作するための分子ツールの開発	教授 今村 博臣
	金属タンパク質の機能解析 反応機構に基づいた酵素機能の改変	教授 小崎 紳一
	植物プラスチドにおける同化系代謝間制御の解析 フェレドキシンとその依存タンパク質間の相互作用と電子伝達メカニズムの解析	教授 木股 洋子
	微生物の代謝とロバスト性に関する研究 微生物の持つ特異な代謝機構に関する研究	教授 高坂 智之
	植物が代謝によって獲得する生理生態学的環境適応戦略の解明 作物が作り出す機能性物質の代謝経路の解明とその応用研究	教授 松井 健二※2

(博士前期課程)

農学系専攻[Division of Agricultural Sciences]

コース	研究内容	教員名
生命科学コース	哺乳類神経筋システムの適応メカニズムに関する生理・生化学的研究 神経筋の加齢変化抑制のための運動刺激に関する研究	教授 宮田 浩文 ^{*1}
	微生物の発酵生理学と代謝工学 微生物を用いた有用物質生産	准教授 片岡 尚也
	植物香気成分の生成機構の解明 植物内在性基質を利用した代謝工学による有用物質の生産	准教授 肥塚 崇男
	刺胞動物のストレス耐性に影響をもたらす共生微生物の機能解明 共生性微生物-宿主の細胞内共生成立メカニズムの解明	准教授 湯山 育子
	ゲノム倍数化が植物の成長に及ぼす影響の解析 核内倍加が関わる植物細胞の成長制御メカニズムについての研究	助教 菊池 涼夏
	地下生命圏における微生物の生理生態学 微生物の温度適応メカニズムの解明	助教 佐藤 悠
	耐熱性酵母の高温環境下における耐熱機構の解明と生育特性 ゲノム解析に基づく微生物の分類・同定方法の評価	助教 前野 慎太朗

交通のご案内 ACCESS MAP



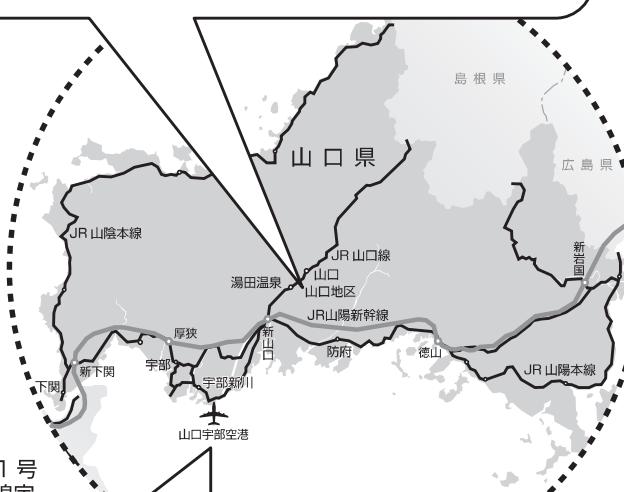
山口地区

- 理学部・農学部
- 吉田キャンパス／
山口市吉田 1677-1
- JR 山陽本線新山口駅から JR 山口線「湯田温泉駅」下車。
JR 湯田温泉駅入口バス停から
JR バス山口大学行「山口大学」
下車。
- JR 新山口駅発 防長バス「道の駅仁保の郷」行、「県庁前」行、「宮野温泉」行、又は「スポーツの森」
行「湯田温泉」下車。JR バス「山口大学」行に乗り換え「山口大学」
下車、又は防長バス「新山口駅」行
(権現堂橋経由)又は「リハビリ病
院」行に乗り換え「山口大学前」
下車。(徒歩の場合、湯田温泉バス停
から約 35 分、JR 湯田温泉駅か
ら約 25 分)
- JR 新山口駅から車で約 30 分

宇部地区

工学部

- 常盤キャンパス／
宇部市常盤台 2 丁目16番 1 号
- JR 新山口駅またはJR 山陽本線 宇部駅からJR 宇部線「宇部新川駅」
下車。
駅前バス停から宇部市営バス（下記のいずれか）に乗車し、工学部前
下車。徒歩約 3 分。
 - ・参宮通経由ひらき台行
 - ・参宮通経由ひらき台・交通局行
 - ・めぐりーな(東部市内循環線)
 - ・萩原循環線
- 山口宇部空港から車で約10分。



宇部

